



報道発表資料の配付日時 9月14日 (水) 11時30分

発表項目 (行事名)	『介護・福祉機器等関連産業参入研修会』開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>介護・福祉業界において、介護従事者不足の解決のためには、IT・ロボット技術の活用が必要不可欠です。このため、道では、道内のものづくり企業やIT関連企業等を対象に、介護・福祉機器産業への参入や事業拡大を検討いただくための研修会を開催することとしました。</p> <p>研修会では、市場動向や機器開発のポイント等に関する講演、参入企業による事例紹介、参加者による情報交換を行います。介護・福祉機器産業に関心のある企業や社会福祉施設の方など皆さまの参加をお待ちしております。</p> <p>研修会の概要</p> <p>(1) 日時：令和4年(2022年)10月20日(木) 14:30～17:00(予定)</p> <p>(2) 会場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター 3C (札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴェオフィス札幌3階)</p> <p>(3) 共催：北海道、北海道医療福祉産業研究会、ノーステック財団</p> <p>(4) 対象：ヘルスケア関連産業への参入を検討している企業、すでに参入している企業、等</p> <p>(5) 定員：40名(参加無料/先着順)</p> <p>プログラム</p> <p>14:30～14:35：「開会」</p> <p>14:35～15:35：「介護・福祉機器開発における参入のポイント」 講師 公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 氏</p> <p>15:45～16:05：「異分野であるヘルスケア IT 参入の背景と開発経緯の紹介」 講師 株式会社サンクレエ 代表取締役 森 正人 氏</p> <p>16:05～16:25：「自動運動プログラム トレPro の開発紹介」 講師 株式会社ルシファ 角谷 尚哉 氏</p> <p>16:25～17:00：「名刺交換・情報交換会」</p> <p>申込方法</p> <p>申込フォームからお申し込みください。 https://forms.gle/GfN7nbvpGbq2gYWMA 詳細は道産業振興課 HP をご覧ください https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/R4-Sangyou-Sannyukensyukai1.html</p>		
報道(取材) に当たって のお願い	介護・福祉業界における、省力化・効率化は必要不可欠であることから、多くの方に関心を持っていただき、本研修会に参加者していただきたいので、広く周知をお願いします。		
他のクラブ との関係	(場所)		

担当 (連絡先)	経済部産業振興局産業振興課健康長寿産業担当(担当者：七田、山口) TEL ダイヤルイン 011-204-5336 内線 26-805
-------------	---

令和4年度ヘルスケア関連産業デジタル技術等活用促進事業

介護・福祉機器等関連産業参入研修会

介護・福祉業界において、介護従事者不足の解決のためには、IT・ロボット技術の活用が必要不可欠です。このため、道では、道内のものづくり企業やIT関連企業等を対象に、介護・福祉機器産業への参入や事業拡大を検討いただくための研修会を開催することとしました。

研修会では、市場動向や機器開発のポイント等に関する講演、参入企業による事例紹介、参加者による情報交換を行います。介護・福祉機器産業に関心のある企業や社会福祉施設の方など皆さまの参加をお待ちしております

- **日時** 令和4年10月20日(木) 14:30~17:00
- **会場** TKP札幌駅カンファレンスセンター 3C
(札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴェオフィス札幌3階)
- **定員** 40人(参加無料) 申込期限 令和4年10月12日(水)

14:30~14:35 「開会」

14:35~15:35 「介護・福祉機器開発における参入のポイント」

公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島 清国 氏

五島氏は1988年に国立療養所岐阜病院に入職後、社会福祉・医療事業団(現：福祉医療機構)、厚生省(現：厚生労働省)保健医療局を経て、93年より公益財団法人テクノエイド協会企画部に勤務して、これまで福祉用具・介護ロボットに関わる調査研究等を主に担当し、「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の実施や、「福祉用具情報提供システム」の運用等に従事してきました。本講演では、介護・福祉機器の市場動向、機器開発のポイント、ビジネスモデルの考え方などについてご講演いただきます。

15:45~16:05 「異分野であるヘルスケアIT参入の背景と開発経緯の紹介」

株式会社サクレエ 代表取締役 森 正人 氏

株式会社サクレエ様は30年以上に渡り中小企業向けの基幹業務システムの開発を行っており、新たな事業として超少子高齢化社会における「人の代替手段としてのAI・IoTの社会実装(サービスの開発)」に取り組んでおります。見守り、自立走行木製歩行器、認知機能維持のトレーニングなど各種取り組み内容等についてご紹介いただきます。

16:05~16:25 「自動運動プログラム トレproの開発紹介」

株式会社ルシファ 角谷 尚哉 氏

株式会社ルシファ様はディサービスを運営しながら、シニア向けフィットネスやリハビリテーションの提供を行っております。これまでの経験から、自動で運動プログラムを提供し科学的介護情報システムLIFEと連携する「トレpro」を開発したことから、その開発経緯等についてご紹介いただきます。

16:25~17:00 「名刺交換・情報交換会」

当日会場に参加企業のパンフレット等を配置し、情報交換の際に利用いただけます。

お申込

お申込は下記URLから、あるいは裏面の申込用紙に必要事項を記載しメールまたはファックスしてください。 <https://forms.gle/GfN7nbvpGbq2gYWMA>

対象

ヘルスケア関連産業への参入を検討している企業、すでに参入している企業、他

共催

北海道、北海道医療福祉産業研究会、ノーステック財団

留意事項

次ページの「参加に際してのお願い」をご確認いただき、新型コロナウイルス感染対策へのご協力をお願いいたします。



<問い合わせ先>

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター(略称:ノーステック財団) 研究開発支援部 富樫・小原
TEL: 011-708-6392 / FAX: 011-747-1911 / E-mail: h-medicalnet@noastec.jp

参加に際しまして

- ① 受付での検温、手指の消毒にご協力ください。発熱や体調不良の場合は参加をご遠慮いただく場合があります。
- ② 受付時は1m程度の間隔を開けてお並びください。時間に余裕を持ってご来場いただけますと幸いです。
- ③ 会場内ではマスクの常時着用をお願いいたします。
- ④ 名刺交換・情報交換の際には、一人10分以内を目安に情報交換等を行ってください。
- ⑤ 以下に該当する場合は、来場をご遠慮下さい。また、セミナー中に下記の症状が発生した場合は、ご帰宅をお願いいたします。
 - 37.5度以上の熱がある
 - 風邪の症状がある
 - 倦怠感がある
 - 息苦しさがある
- ⑥ ご参加いただきました研修会で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、感染症法に従っての対応のため、弊財団で取得済みの情報（氏名、連絡先等）について保健所にお伝えする場合がありますので、予めご了承ください。

FAX:011-747-1911 または h-medicalnet@noastec.jp

※下記申込書に必要事項をご記入の上、送信してください。

ノーステック財団 研究開発支援部 富樫・小原 行

参加申込書

〆切:令和4年10月12日(水)

会社名		
電話番号		
F A X		
部署・役職	氏名	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は本研修会の管理運営にのみに使用いたします。

当日会場内に貴社のチラシ等の配置を希望される場合は、種類とそれぞれサイズ等をご記入ください。

種類	サイズ、枚数など
種類	

<問い合わせ先>

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（略称:ノーステック財団） 研究開発支援部 富樫・小原
TEL : 011-708-6392 FAX : 011-747-1911 E-mail : h-medicalnet@noastec.jp